

### 【竹栄会】

「13のような団体が増え、市民活動で元氣な神崎市になることが夢ですね」と会長の新井豊さん。1年間に3つのイベントを7人でこなしている奮闘ぶりは、黒沢映画の「7人の侍」のよつです。

竹栄会は、平成20年に、神埼町竹地区にある7つの公民館長が集まり、松本市長が提案する地域活性化を手伝えないかと考え、結成されました。

今年も行われたふるさと探訪ウォーキング



### 地域盛り上げる7人の侍



今年初めて西郷小学校で行われた第3回竹栄祭

その前年に公民館長研修会で大分へ行つた際、竹地区は十数世帯の集落を含め、ミニ集落が多いが、7集落集まると何かできるのではと思いついたのがきっかけです。

平成20年3月に、自分たちのふるさとをまず知ってもらおうと「ふるさと探訪竹ウオークラリー」を企画。竹地区7公民館を探訪し、各公民館において、地名の由来や名所・旧跡等の説明を受け、自分たちのふるさとこのことを学びました。

これに手応えを感じ、平成20年7月に会を発足。今まで地元体育関係者有志が行っていたミニバレーボール大会を会が主催し、文化発表会として竹栄祭を開催しました。

3年目となる今回の竹栄祭は、初めて西郷小学校体育館で開催し、竹地区だけでなく西郷小学校区へと範囲を広げました。120人が参加し、西郷小学校児童による地元の大蛇伝説をモチーフとした西郷体操やカラオケ大会、警察音楽隊の演奏などで会場は盛り上がりました。

「竹栄会3年間の活動で竹地区の絆は一段と強まったと思っています。今回、西郷校区に範囲を広げたことで新たな可能性も見えてきました」と新井会長。しかし、課題もあります。ひとつは、若手の人材育成。働き手の中心とされる40、50歳代のイベント参加が少ないこと。

もう一つは活動費の問題。市の「まちづくり市民活動支援事業」の補助金交付を受けられるのは今年が最後。新井会長は「援助が無くても地区の応援を基盤に続けていきたい」と話されています。

一人ひとりが生き生きと暮らす元氣な神埼を。市民の立場で、住みよいふるさとづくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介していきます。



会長の新井豊さん

平成20年7月に竹地区にある7つの公民館長が集まり発足。年間に「ふるさと探訪ウォーキング」「竹栄祭」「ミニバレーボール大会」の3イベントを行い、竹地区の活性化に努めている。

「竹栄会」 会長 新井 豊

神崎市神埼町竹1393番地1(利田公民館) TEL 0952-52-8407